

## 平成 28 年度 留学生・教員懇談会

2016 年 11 月 24 日 12:10~12:50 文学部第 2 会議室

### 1. 留学生からの要望

・文学部で WiFi がつながりにくいので、勉強をするにあたって不便を感じている。

→経済的な事情で不便な状況になっている。法経学部棟はつながりやすいので、当面はそちらで作業をするなどして対応をしてほしい。

・日本語の授業が普遍の必修となっているが、日本語レベルの高い長期留学生にとっては難易度が低く、また専門の科目と時間が重なったりして履修もしにくい。論文作成法やディスカッションなど高度な日本語能力を伸ばす授業を実施するなど選択肢を広げてほしい。

→日本語能力の高い学生については、他の授業で振替を行うなどの柔軟な対応ができるように検討したいが、全学的なきまりでもあるため文学部のみでの対応がしにくいのも現実である。

・卒論を日本語で書くのが困難なので、論文作成にかかわる日本語指導をチューターなどに頼みたい。

→1) 論文作成法については、指導教員に相談して指導を受けるとよい。

2) チューター室に原稿を持参して添削を依頼するなどの方法もよいのではないか。

3) 図書館 2 階のスペースに論文指導を受けられる場所がある。(→利用した。専門的な指導は受けられなかったが一般的なことは教えてもらったので役には立っている)

### 2. その他 (留学してよかったと思うこと、留学のきっかけなど)

・チューター制度は役に立っている。一緒に受講している科目の試験勉強を一緒にやるなどして活用している。

・日本人学生と同等に勉強をすることができて誇らしく思っている。

・単位を集めるだけでなく、卒論執筆などを通して体系的な勉強ができるのでよい。

・小説、映画、ドラマなどのポピュラー文化が、日本語や日本への留学に関心を持つきっかけとなった。

・他国での留学とそこでの日本の表象への疑問が日本留学のきっかけになった。